

# 緊急 無給医労働実態調査 2019

医師労働研究センター企画 調査期間 2019年9月1日～9月30日

この調査は、医師と歯科医師で現在無給医となっている方を対象とした調査です。結果は回答者を匿名化したうえで公開します。

目的は無給医の労働実態を把握し、メディア等を通じて社会に訴えることです。また、文部科学省、厚生労働省等に対して、無給医の根絶を求める要請等を行うために役立てます。

回答は番号の選択（○で囲む）または記述をし、「その他」は具体的に記述をお願いします。

## \*このアンケートにおける無給医の定義

無給医という言葉は、法的な用語でも社会科学的な用語でもありません。ここでは、このアンケートの目的を念頭に、以下のように定義します。

大学病院で診療を行っているにも関わらず、正規の労働時間の適切な賃金をもらっていない医師・歯科医師および、実際の労働時間よりも短い時間の賃金しかもらっていない医師。

ここでの賃金は時間当たりの労働に支払われる報酬であり、修学援助金や研修援助金などの定額の謝礼は含まないものとします。

なお、一般的な残業代不払いとの違いを明確にするため、単なる残業代の不払いは含まないものとします。具体的には問1(11)を参考にしてください。

## 1. あなたご自身についてお尋ねします。

(1) 属性 : ( ①医師 ②歯科医師 )

(2) 年齢 : ( ①20歳代 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代 ⑤60歳以上 )

(3) 医師・歯科医師になってからの年数 ( \_\_\_\_\_年)

(4) 性別 : ( ①男 ②女 )

(5) 世帯状況 : ( ①未婚 ②既婚 )

(6) 大学について

①国公立大学 ②私立大学

(大学病院名: この質問は任意です。 \_\_\_\_\_)

(7) あなたの立場 (ポジション)

A: 大学病院所属の場合

①教授 ②准教授 ③講師 ④助教 ⑤大学院生 ⑥初期研修医

⑦後期研修医 (専攻医) ⑧一般医師 (医局員) ⑨研究生 ⑩研修生

その他 ( \_\_\_\_\_ )

B: 大学病院以外の医療機関の所属の場合

①常勤医師 ②非常勤医師 ③研究員 ④初期研修医 ⑤後期研修医 (専攻医)

(8) (7) の A の質問で医局員・大学院生・専攻医・研究生・研修生と答えた方にお聞きします。

その、ポジションは自ら望んで得たものですか。

①はい (自ら望んだ)

②助教のポストがないので仕方なく

③常勤医等のポストがないので仕方なく

④その他 (具体的に \_\_\_\_\_ )

(9) 医科の主たる担当診療科目

①一般内科 (家庭医・総合医を含む)・②呼吸器科・③消化器科・④循環器科・⑤神経内科・

⑥その他の内科・⑦外科・⑧小児科・⑨産婦人科・⑩救急科・⑪麻酔科・⑫脳神経外科・

⑬整形外科・⑭精神科・⑮眼科・⑯耳鼻咽喉科・⑰皮膚科・⑱泌尿器科・⑲放射線科・

⑳リハビリテーション科・㉑初期研修中・㉒その他：( )

(10) 歯科の主たる担当診療科目

①歯科・②矯正歯科・③小児歯科・④歯科口腔外科・⑤その他：( )

(11) 無給医の形態

①雇用契約もなく全く給与が支払われていないケース

②雇用契約書に給与なしと明記されているケース

③月 20 万円の給与となっているが、給与カット 20 万円などとされ、実質給与 0 円のケース

④月数万円など低額の賃金または修学援助金などしか支払われていないケース

⑤毎日フルタイムで働いていても月に 10 時間しか働いていないなどの

実態と乖離した契約書を結ばされているケース

⑥最低賃金以下の賃金しか支払われていないケース（最低賃金の最も高い東京は 985 円）

⑦最低賃金を超える賃金であるが、同一労働・同一賃金の原則を著しく逸脱しているケース  
（今回は便宜的に時給 2000 円以下とします）

⑧その他、具体的に

( )

(12) あなたの健康保険は何ですか

①社会保険（健康保険） ②国民健康保険 ③入っていない

(13) あなたの年金保険は何ですか

①厚生年金保険 ②国民年金保険 ③入っていない

(14) 大学病院との雇用契約書（労働契約書）について

①詳細な契約書がある ②簡単な契約書がある ③契約書がない ④わからない

(15) 上記で「契約書がない」と答えた方への質問です。雇用契約がないにも関わらず診療を行うのはなぜですか。

①口頭での契約があるため

②業務命令\*による（\*直接の指示がない場合でも実質的に断れない場合も含む）

③業務命令はないが、やらない場合の不利益が予想されるため

④業務命令はなく、完全な自由意思\*による

⑤自己の研究や臨床データ収集のために、完全に自由意思\*で

⑥研鑽・スキルアップのために、完全に自由意思\*で

⑦その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

（\*自由意思とは始業・終業等、業務内容を自己判断で決定・選択できる場合）

## 2（該当者のみ記載してください）大学病院が主たる勤務先の医師・歯科医師の場合

(1) アルバイトについて

①ある ②なし

あると答えた方のアルバイトの内容（複数回答可）

（ ①外来診療 ②日直 ③当直 ④胃カメラやカテーテル等の検査 ⑤手術 ）

アルバイトの回数（日当直以外）

①週 1 日 ②週 2 日 ③週 3 日 ④週 4 日 ⑤週 5 日以上

平均的な月の日直回数

①月 1 回 ②月 2 回 ③月 3 回 ④月 4 回 ⑤月 5 回 ⑥月 6 回以上

平均的な月の当直回数

①月 1 回 ②月 2 回 ③月 3 回 ④月 4 回 ⑤月 5 回 ⑥月 6 回

⑦月 7 回 ⑧ 8 回 ⑨ 9 回 ⑩ 10 回以上

(2) 労働時間と賃金及び日当直

- ①大学病院での週のおおまかな労働時間（日当直を除く）  
 \_\_\_\_\_時間、うち賃金が払われる時間\_\_\_\_\_時間
- ②大学病院での月の平均的な日直回数：\_\_\_\_\_回、1回当たりの日直料\_\_\_\_\_円
- ③大学病院での月の平均的な当直回数：\_\_\_\_\_回、1回当たりの当直料\_\_\_\_\_円
- ④アルバイト先での月の平均的な日直回数：\_\_\_\_\_回
- ⑤アルバイト先での月の平均的な当直回数：\_\_\_\_\_回

(3) 収入について

- ①大学病院での収入：月平均\_\_\_\_\_円
- ②アルバイトによる収入：月平均\_\_\_\_\_円

(4) 大学への支出について（該当者のみ）

- ①大学院生の学費 年\_\_\_\_\_円
- ②大学院生以外で研修を行うに当たって何らかの名目で大学への支払いがある場合  
 : 名目 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

**3、（該当者のみ記載）大学病院以外が主たる勤務先の医師・歯科医師の場合**

(1) 主な勤務病院の開設主

- ( ①国公立病院 ②公的病院（日赤・厚生連・済生会・JCHO など）  
 ③私的病院 ④その他：\_\_\_\_\_ )

(2) 主な勤務先でのポスト等

- ( ①部長以上の管理職 ②医長クラスの管理職 ③一般医師 ④後期研修医（専攻医）  
 ⑤初期研修医 ⑥その他：\_\_\_\_\_ )

(3) 大学病院へ行く理由

- ①専門医の資格を得るため（自主的） ②専門医の資格を得るため（病院からの要請）  
 ③全くの研鑽目的（自主的） ④全くの研鑽目的（病院からの要請）  
 ⑤大学医局の慣習（研鑽のメリットあり） ⑥大学医局の慣習（研鑽のメリットなし）  
 ⑦その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

(4) 大学へ行く頻度（該当者のみ教えてください）

- ①週1日 ②週2日 ③週3日 ④週4日以上

(5) 上記の期間

- ①約半年 ②約1年 ③約1年半 ④約2年 ⑤約2年半 ⑥3年以上

(6) 長期間連続で大学に行くケース（該当者のみ教えてください）

- ①約半年 ②約1年 ③約1年半 ④2年～3年 ⑤3年以上

(7) 労働時間と賃金及び日当直

- ①大学病院での週のおおまかな労働時間（日当直を除く）  
 \_\_\_\_\_時間、うち賃金が払われる時間\_\_\_\_\_時間
- ②大学病院での月の平均的な日直回数：\_\_\_\_\_回、1回当たりの日直料\_\_\_\_\_円
- ③大学病院での月の平均的な当直回数：\_\_\_\_\_回 1回当たりの当直料\_\_\_\_\_円
- ④自分の病院での月の平均的な日直回数：\_\_\_\_\_回
- ⑤自分の病院での月の平均的な当直回数：\_\_\_\_\_回

(8) 収入について

- ①主な勤務先での収入：月平均\_\_\_\_\_円
- ②大学病院での収入：月平均\_\_\_\_\_円

(9) 大学で研修を行うに当たって何らかの名目で大学への支払いがある場合（該当者のみ）

- 名目 \_\_\_\_\_ 月額 \_\_\_\_\_ 円

#### 4、休日と放射線の被ばくについて

- (1) 休みの取得  
先月は、完全な休日は何日取れましたか。(アルバイトを行った日を除く) ( \_\_\_\_\_ 日)
- (2) あなたは放射線に被ばくする業務に従事することがありますか  
①ある ②ない
- (3) 前問で①あると答えた方、被ばく量を管理するフィルムバッチで適切に管理されていますか  
①適切に管理されている ②管理はされているが不十分 ③全く管理されていない

#### 5、診療と研究や研修・研鑽について

- (1) あなたが大学病院で行っている診療は研究や研修・研鑽に役立っていますか  
①とても役立っている ②ある程度役立っている ③ほとんど役立っていない  
④全く役に立っていない
- (2) 大学院生への質問です。あなたは研究時間を十分に取れていますか。(該当者のみ)  
①十分に取れている ②十分とは言えないが取れている ③あまり取れていない  
④わずかししか取れていない

#### 6、パワハラ（過度な仕事量、暴言や叱責、無視等）やセクハラに関する質問

- (1) 大学病院でパワハラを受けたことはありますか？  
( ①ある ②ない ③わからない )
- (2) 前問で「ある」と答えた方で、パワハラを行ったのは以下のどの人に当たりますか。  
( ①教授 ②准教授 ③講師 ④直属の上司 ⑤先輩医師 ⑥同僚 ⑦その他 )
- (3) セクハラを受けたことがありますか  
( ①ある ②ない ③わからない )
- (4) 前問で「ある」と答えた方で、セクハラを行ったのは以下のどの人に当たりますか。  
( ①教授 ②准教授 ③講師 ④直属の上司 ⑤先輩医師 ⑥同僚 ⑦その他 )
- (5) マタハラ（妊娠や出産を理由に不利益な待遇や言動を受けること）はありますか？  
①ある（具体的に： \_\_\_\_\_ )  
②ない
- (6) 前問で「ある」と答えた方で、セクハラを行ったのは以下のどの人に当たりますか。  
( ①教授 ②准教授 ③講師 ④直属の上司 ⑤先輩医師 ⑥同僚 ⑦その他 )

#### 7、無給医問題に関する考え

- (1) あなたは、無給医がいることをどのように感じますか？  
①別に構わない ②良くはないがしょうがない ③許せない ④どちらとも言えない
- (2) あなたは、無給問題は解決される必要があると思いますか？  
①解決されるべきだ ②解決されなくてもよい ③どちらとも言えない

#### 8、無給医問題に関する抗議や提案の経験

- あなたは無給医問題に関して何らかの抗議や改善策の提案等を行ったことはありますか。
- (1) ある：(具体的に \_\_\_\_\_ )
- (2) ない：理由 ①博士号や専門医取得で不利益を被る ②医局に居づらくなる  
③関連病院のポストを得られなくなる  
④その他：(具体的に： \_\_\_\_\_ )

#### 9、無給医問題の解決に必要なこと

- (1) 昨年の秋に無給医報道があつてから、何らかの改善はありましたか

- ①無給医問題はなくなった    ②大きな改善があった    ③少し改善がみられた  
④何も変わっていない    ⑤むしろ悪くなった

(2) 無給医をなくすにはどうすればよいと思いますか (3つまでの複数回答可)

- ①大学の研究予算や教育予算を増やす  
②大学病院の経営状態改善のための診療報酬の改定  
③大学の自主的な取り組みに期待する  
④労基署が大学に入り労基法を遵守させる  
⑤国が無給医をなくす政策を実施する  
⑥無給医が声を上げる  
⑦全国医師ユニオンを強くする  
⑧大学に医師の労働組合を作る  
⑨その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

## 10、医療の安全性に関して

(1) 医療の安全性に関して不安を感じたことはありますか

- ①ある    ②ない

(2) アルバイト等による慢性疲労により医療ミスが増えていると思いますか

- ①相当にミスが増えていると思う    ②ややミスが増えていると思う  
③ミスは増えていないと思う    ④わからない

(3) ミスがあると答えた方に聞きます。ミスの具体的内容はどのようなものですか。

(具体的に: \_\_\_\_\_)

## 11、あなたのいまの健康状態や職場に対する気持ちについてお尋ねします

(1) 健康状態

- ①健康である    ②健康に不安    ③大変不安    ④病気がちで健康とはいえない

(2) あなたは最近「大学をやめたい」と思うことがどの程度ありましたか

- ①いつもあった    ②時々あった    ③まれにあった    ④なかった

12、直接のヒアリングに御協力いただける方はメールアドレスを記入ください。

場合によっては、こちらから連絡をさせていただきます。

(アドレス: \_\_\_\_\_)

13、無給医の実態について、または要望等を自由に記入して下さい。

---

---

---

---

---

---

---

---

(ご協力ありがとうございました)